

テーマ

メディア露出の少ないアイドルとファンの関係について

この題材について研究しようと思った動機

- ・ 私たち自身が研究の題材であるマスメディア露出の少ないアイドルが好きであるから
- ・ マスメディアを利用できる機会が少ないアイドルがどのような方法でファンを増やしているのかを知りたかったから
- ・ 現代のアイドル業界において、上記のようなアイドルが増加しており、またそれに比例し、ファンも増えているからである。

調査方法

Google フォームにてアンケートを作成したのち、アイドル事務所に送付。

どの事務所様、アーティスト様にお答え頂いたかは、プライバシー保護の為伏せて使用。

メディア露出の少ない アイドルの方へのアン ケート

回答内容は学校の講義内でのみ使用させていただきます。
講義外での情報の二次利用は決して致しません。

どのような活動を通してファンを増やしていますか？

回答を入力

ファンの方への対応で何に重きを置いていますか？（親近感重視、神対応意識等）

回答を入力

どのような時にアイドルをされていて良かったと思いますか？

回答を入力

アイドルのファンの方 へのアンケート

回答内容は学校の講義内でのみ使用させていただきます。
講義外での情報の二次利用は決して致しません。

何をきっかけに知りましたか？

回答を入力

なぜ推そうと思いましたか？

回答を入力

どのような時に応援していて良かったと感じますか？

回答を入力

アンケート結果

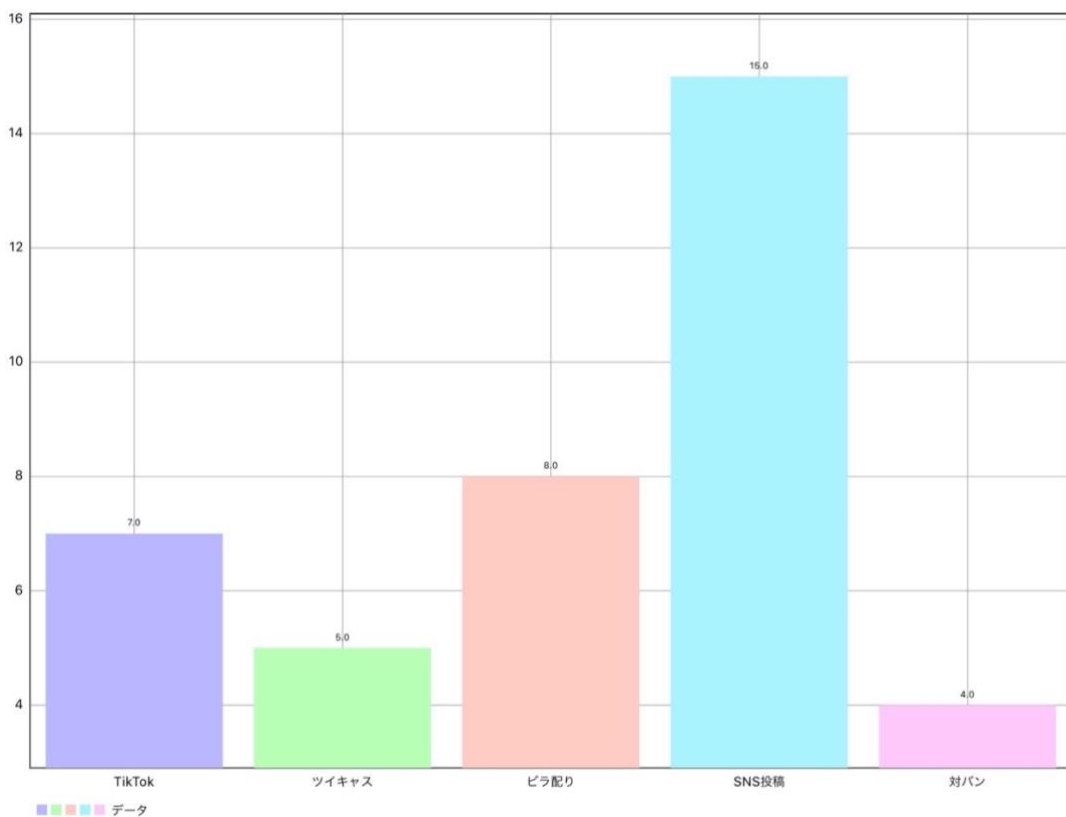
研究結果①

質問内容：どのような活動を通してファンを増やしていますか？

回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・TikTok 7票
- ・ツイキャス 5票
- ・ビラ配り 8票
- ・SNS投稿 15票
- ・対バン 4票



今回、この質問に対して、グラフの通りほぼ全ての回答がSNSに関するものであった。

現代社会のSNS普及に伴い、アイドル業界でも友好的にSNSを活用した広報戦略が取られていることがわかった。

研究結果②

質問内容：ファンの方への対応で何に重きを置いていますか？

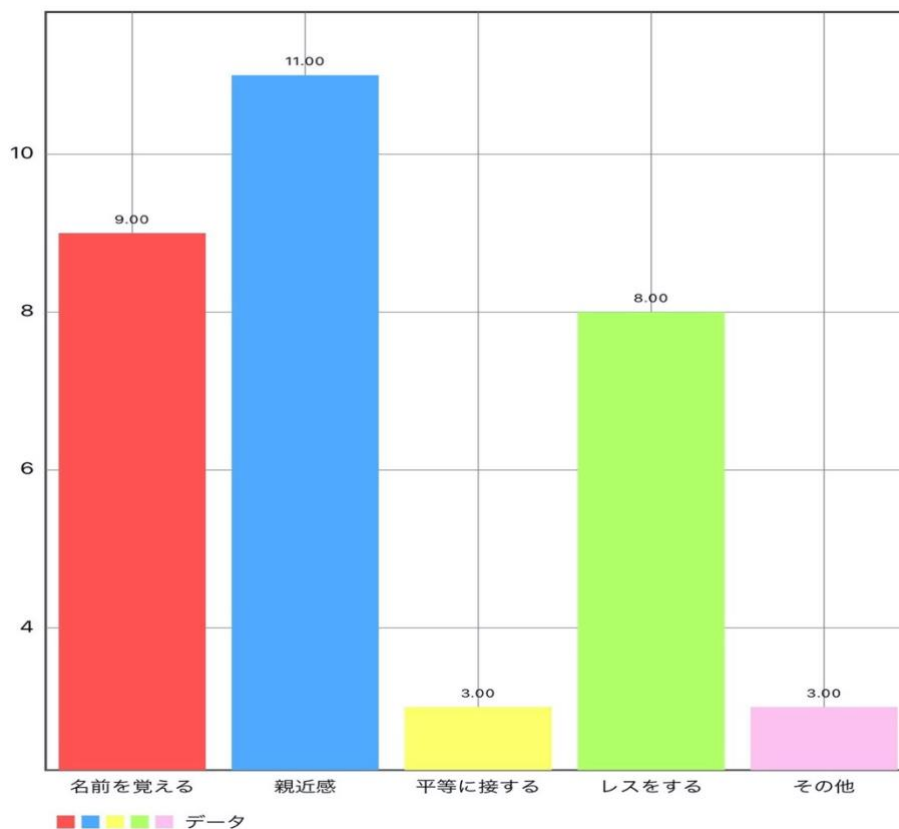
回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・名前を覚える 9 票
- ・親近感 11 票
- ・平等に接する 3 票
- ・レスをする 8 票

その他

- ・彼女として扱う 1 票
- ・自分を世界一可愛いと思って対応する 1 票
- ・ファンを親友だと思う 1 票



このアンケートから、親近感やファンとの心の近さに重きを置いて活動しているアイドルが多いことが分かった。

「彼女や彼氏として扱う」や「名前を覚える」などファンにとって特別な思い出になる対応を心がけているアイドルが多いように感じた。

研究結果③

質問内容：どのような時にアイドルをしていて良かったと思いますか？

回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・ライブなどで自分を応援してくれるファンの人数が増えた 10 票
- ・ファンの人達の歓声（舞台上からの景色） 5 票
- ・握手会等でのファンの人達交流 3 票
- ・SNS 等のフォロワー増加 4 票
- ・ダンスや歌の上達（達成感） 2 票

このアンケートから、全体的にファンにベクトルを向けた意見が多いことが分かった。

ファンの方のために、ファンの方を思ってという意見が目立った。

メディア露出が多い少ないに関わらずプロ意識が高いことが分かった。

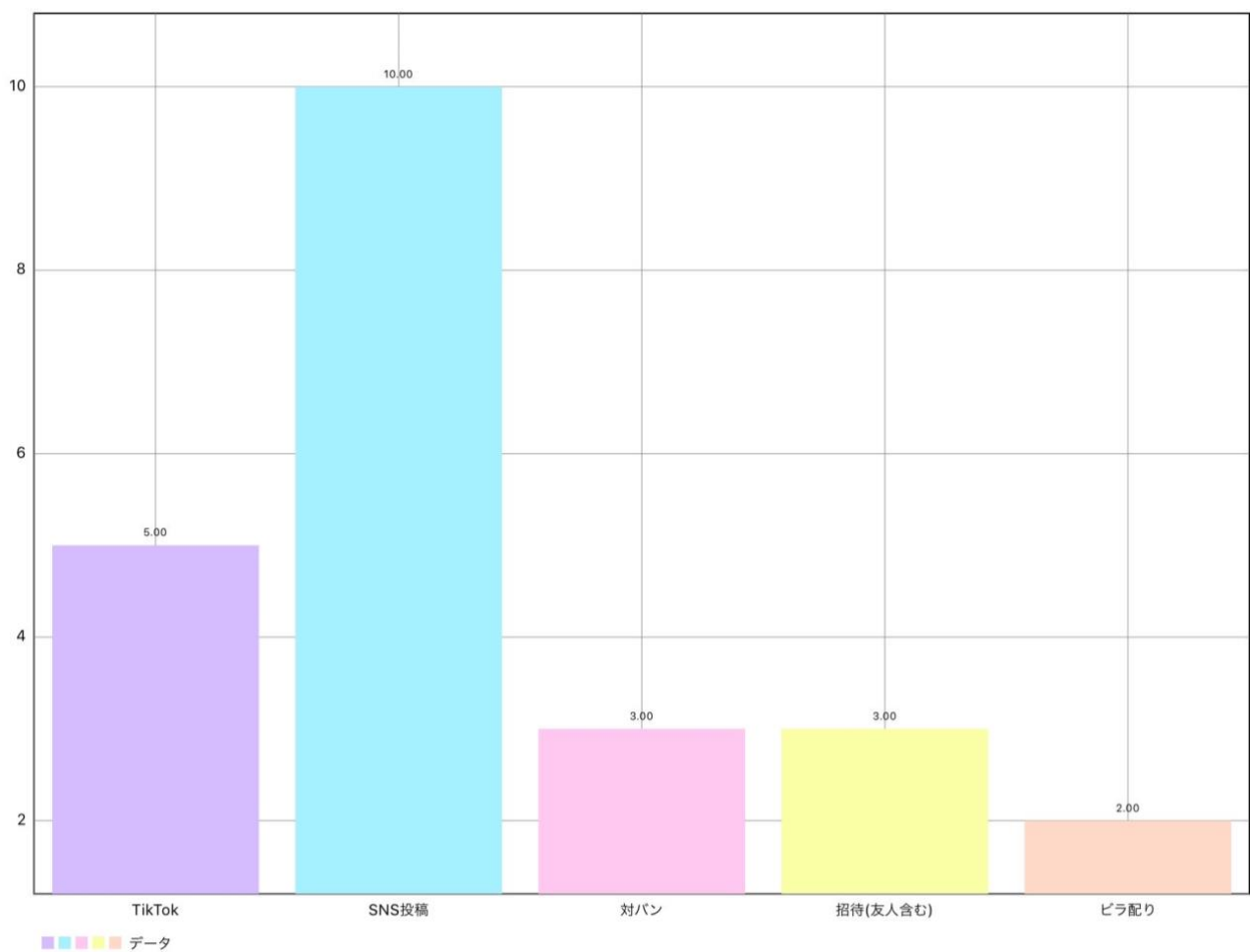
研究結果④

質問内容：何をきっかけに知りましたか？

回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・TikTok 5 票
- ・SNS投稿 10 票
- ・対バン 3 票
- ・招待 3 票
- ・ビラ配り 2 票



調査結果①と見比べてみると、調査結果①の結果と同様に SNS で知ったという回答が圧倒的に多く見受けられた。

また、そういったファンの方は多くが若年層であった。

中年層では、友人伝いに情報の共有をする場合や、招待チケットの使用、実際の現場での対バンなどが主に知る機会となるのではないだろうか。

研究結果⑤

質問内容：なぜ推そうと思いましたか？

回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・顔がタイプだったから 7 票
- ・歌声が好きだから 3 票
- ・twitter でリプ返してくれたから 1 票
- ・ダンスがかっこよかったから 3 票
- ・ライブが楽しかったから 2 票
- ・物販の対応が良かった 1 票

このアンケートでは、圧倒的に「顔がタイプだったから」という理由で推そうと思った人が多かった。

また、物販の対応は、推されてからでないと分からないものなので票数が伸び悩んだようだ。

また、歌やダンスが好き、かっこいいと思った人の中では、SNS で見て…という回答が多く、ここでも SNS の重要性が浮き彫りとなった。

研究結果⑥

質問内容：どのような時に応援していて良かったと感じますか？

回答内容：以下の通り

回答内容内訳

- ・ファンサービスをもらったとき 11 票
- ・握手会や物販などのアイドルとの交流会 8 票
- ・アイドルに認知されている。 4 票
- ・アイドルが会うたび外見のグレードが上がる。 2 票

このアンケートではファンサービスや認知など、アイドルとより近い関係であると感じられた瞬間が多く挙げられた。研究結果②でファンとの距離感に重きを置いていたアイドルとしては非常に嬉しい結果かと思われる。

考察

全体のアンケートを通して、メディア露出の少ないアイドルとファンにとって SNS がいかに重要で有効的であるかが分かった。どのようなアーティストでも SNS は使用するが、メディア露出の少ないアイドルは、自身の手でアカウントを運用し、毎日同時間に投稿をしたり、ファンのリプに反応したりしている。これによってファンはアイドルを近くに感じ、より近くにより近くにと現場へ足を運ぶのではないだろうか。

つまり、アイドル自信の SNS 力もアイドルとしての人気に大きく関わってくるのだ。

メディア露出の多いアイドルは、バラエティー力やカリスマ性が問われることが多いが、その点で考えるとメディア露出の少ないアイドルも同じようにバラエティー性やカリスマ性を必要とされるのではないだろうか。

また、SNS を使うことで、アイドルはファンに、ファンはアイドルにより生の声が届けられる。

これは小規模で頻繁にライブを行うメディア露出の少ないアイドルにとって、重要なメリットだと言える。なぜなら、メディア露出の少ないアイドルのファンは、研究結果⑤や研究結果⑥から分かる通り、自身がアイドルとより近い距離にあることを喜ぶ傾向にあるからである。

まとめ

今回のテーマであった、メディア露出の少ないアイドルとファンの関係について、大事とされるのは SNS の存在であることがわかった。

このテーマは、より細分化した際、多くのアイドルプロダクションが必要としている情報になる。

しかし今回、アイドルのプライバシーに関することなので、情報入手が困難であった。

音楽業界で働く上で、欲しい情報を自分の力で入手するというのは大きな力だと考えるので、人脈を広げ、もっと大規模なアンケートを行いたいと思う。希望としては 150 人ほどのデータを集め、資料化したいと考える。